



新宅群長に大槌の未来を託され、決意の敬礼

7月26日、自衛隊の撤収の日。ふれあい運動公園野球場で、感謝のセレモニーが行われた。陸上自衛隊の皆さんは震災以降、町内での人命救助や遺体捜索、がれき撤去、被災者に対する給食、入浴、物資輸送などの活動を行ってきた。

セレモニーでは、吉里吉里中3年の佐野智則さんが感謝の言葉を述べ、町から感謝状が贈呈された。また、小学生、幼稚園児、キッズコーラス「あくどまめ」の皆さんから、花束や手作りペンダント、歌のプレゼントが贈られた。

第5高射特科群の新宅正章群長は、挨拶の中で贈り物一つ一つに「ありがとう。」と感謝した。自衛隊への感謝の気持ちを伝え、見送りをするために、会場となったふれあい運動公園野球場にはたくさんの方が集まった。式の途中からは、強い雨が降ってきたが、傘がなくても会場を後にする人はいなかった。

大きな感謝をもって見送られ、自衛隊は大槌を去った。手を振る町民の顔は、復興への決意に満ちていた。

感謝そして決意

7・26 自衛隊撤収

これまで家族のように支援してくれた自衛隊の撤収。大きな感謝と別れの寂しさに、町の人々が、大槌の空が、泣いた。



沿道には多くの人々が並び、手を振り続けた



雨に濡れながらも、最後まで残って感謝の気持ちをかかげた



花束を渡す新田亮介さん、小笠原璃久さん、相馬咲さん、沢館佳奈さん



おさなご幼稚園の園児たちから、ペンダントのプレゼント